

平成30年度 学校教育目標設定報告書

学校番号 33

学校名 千葉県立船橋法典高等学校

課程名 全日制の課程

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組, 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
学校経営	1 教育活動のさらなる充実によって「信頼される学校づくり」を目指す。	<p>① 広報係を中心に「ホームページ」「学校案内」「一校1キラッ！」等による学校情報の発信に努め、「ホームページは適宜更新する。</p> <p>② 中学校訪問及び中学生対象説明会を夏季・秋季2回実施し、本校の特色である「きめ細かな指導」と本校の将来像について具体的に説明する。</p> <p>③ 開かれた学校経営のために「開かれた学校づくり委員会」や地域（自治会・地区青少年委員会）との連携を強化する。</p>	<p>① 「学校案内」「一校1キラッ！」「ホームページ」の成果物、及び「ホームページの情報発信を毎学期20回更新したか。</p> <p>② 学校説明会等への参加人数</p> <p>③ 連携の頻度（集まり等の回数）</p>
	2 今後の教育活動のさらなる充実・発展を目指した計画の策定と段階的实施。 (重点目標5)	<p>① 「将来計画検討委員会」において、「自己啓発指導重点校」としてのこれまでの取組みの成果と実態を踏まえた教育活動の充実・発展を目指す具体的な本校将来計画を策定する。</p> <p>② 策定された将来計画を、段階的に順次実施する。</p>	<p>① 将来計画検討委員会等各委員会を活用し、実施回数と策定原案</p> <p>② 策定内容と段階的な実施の時期</p>
	3 不祥事が絶対起かない職場づくりを行う。	<p>① 管理職と教職員及び教職員同士のコミュニケーションを活発にするため、各種面談、授業参観、校内巡視等を行う。</p> <p>② 法令遵守意識を涵養するため、新聞記事や事例に基づいた具体的情報提供や指導を徹底する。</p> <p>③ 若手モラルアップ委員会のさらなる活性化により、職場環境の向上と不祥事防止に努める。</p> <p>④ 衛生委員会を活用し教職員の心身の健康管理状況を把握し、必要な指導及び助言を行う。</p>	<p>① 実施回数等実施状況</p> <p>② 朝会等の機会を活用し情報提供回数、指導回数</p> <p>③ 委員会活動の回数と内容</p> <p>④ 職場環境の整備を行い、職員のストレスチェックや衛生委員会等の実施状況</p>
学習指導	<p>基礎・基本の定着を図る指導を充実させ、生徒一人ひとりの学びに向き合う姿勢を高める。 (重点目標2)</p>	<p>① 少人数展開を活かしたきめ細かな指導によって「学びなおしができる授業」「わかる授業」を行い、“学ぶことの楽しさ”に気付かせる。このことについての生徒による授業アンケートを行う。</p> <p>② 文部科学省・調査研究事業を通し授業公開や研究授業及び職員研修会を実施して指導内容及び指導方法を工夫・改善する。</p> <p>③ 「朝自習」の充実等によって自学自習の態度を育成するとともに、文科省の調査研究事業の実施を通じて、基礎学力の向上をはかる。</p> <p>④ 校長による「授業参観」で生徒の実態把握と授業者への指導助言を行い、授業研究・授業改善の雰囲気醸成する。</p>	<p>① 「学校評価」アンケートのうち生徒による授業評価の満足度85%以上か</p> <p>② 授業公開、研究授業、職員研修会の回数と実施状況、指導案の内容</p> <p>③ ICTを活用した生徒理解、教材進捗状況、達成度テスト、調査研究事業の進捗状況及びその報告</p> <p>④ 指導・助言の内容</p>

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組, 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
生徒指導	生徒の基本的生活習慣を確立し、規範意識の定着を図る。 (重点目標1)	① 全職員が共通理解のもと、生徒一人ひとりを大切にするきめ細かな生活指導を展開する。また、 いじめアンケートを1学期と2学期に実施し、いじめの防止と早期発見に努める。 ② 教育相談機能を生かし、家庭等と緊密に連携した 生徒理解に努める。 ③ 特別支援の観点・合理的配慮を踏まえて、生徒個々の実態に合った適切な指導を行う。 ④ 学年室体制を充実させ、家庭との連携を密にして指導にあたる。 ⑤ 生徒指導部を中心に、一斉指導、各種カード指導を継続して行う。 ⑥ 生徒昇降口での登校観察を行う。 ⑦ 遅刻・欠席・早退の実態把握と家庭連絡等管理を徹底する。	① 「学校評価」の生徒アンケート及び保護者アンケートの結果 いじめアンケートを活用し、個別対応によりいじめ防止及び問題解決ができたか ② 生徒個人面談、保護者面談、教育相談等の実施状況 ③ 把握した事例の指導内容 ④～⑦ 遅刻・欠席・早退、指導等各種集計結果
キャリア教育	生徒の健全な職業観・勤労観を育成する。 (重点目標3)	① 学年と進路指導部が協働し、生徒一人ひとりの能力・適性、興味関心や進路希望に応じたきめ細かな進路指導とキャリア教育を、3年間を見通し計画的・継続的に実践する。 ② 進路ガイダンス(外部講師による 分野別ガイダンス 、 卒業生を講師とした就職ガイダンス)や職場体験を通して健全な職業観・勤労観を育成する。 ③ 「進路News」「学年進路ニュース」を発行し、情報収集や進路先確保を行う。 ④ 一人ひとりの個性を生かした 個別相談 を充実させる。	① 「学校評価」アンケートの結果 ②進路ガイダンスの実施、就職ガイダンス3回実施できたか 進路決定率95%をめざす ③ニュース発行回数・ガイダンス回数 ④年間2回以上の面接指導を行ったか
特別活動	学校行事等特別活動及び部活動を充実させる。 (重点目標4)	① 学校行事における事前・事後の委員会指導を充実させ当該行事の意義を理解し、自ら積極的に関わろうとする態度を育成する。 ② 生徒に自主的活動の機会を提供する部活動の加入率を向上させる。 ③ 活動時間を有効に生かし、成果を認め、達成感を与え、自信を持たせ定着率を向上させる。	①事前・事後指導の有無・内容 ②部活加入率70%以上になっているか ③部活動定着率80%以上になっているか